

平成23年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市宮崎地域ケアプラザ

2 事業計画

地域の現状と課題について

担い手の高齢化、不足は毎年の課題となっています。地域の現状を地域の20代～50代の世代に知っていただくために子育て支援ネットワークや年代別をターゲットとした講座を開催し、地域の福祉保健活動を啓発していきました。

課題のある町会については、地域ケアプラザの機能と利用について、所内(地域活動交流と地域包括支援センター)で連携して積極的に支援や声掛けなどを行い、一緒に地域の福祉保健活動を推進していきました。

担当地区からはケアプラザに行くのに坂を上り下りしなければならないため、こちらから積極的に出向くことを心がけ、住民に広く周知するように努めました。単身者用賃貸マンションが多い町会があり、把握や地域との関係作りが課題です。これからも地域の関係者と共によりよい方法を考えていきたいと思えます。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

指定管理者として、公の施設を公正・公平に管理しました。

常に快適な施設を目指し、地域住民の方が安全に安心して地域ケアプラザの利用ができるように、設備等の保守点検を専門業者をお願いし、定期的に行いました。

月1回の委託業者による定期清掃の他、職員も日常清掃・整理整頓に心がけ、備品管理、警備、そして、ヨコハマ3R夢プランの推進を目指しました。

施設の周辺と3階の緑地帯の剪定や除草を年1回、専門業者に依頼し、衛生上はもちろん、外観を整備しました。

施設衛生においては、感染症・食中毒予防などに力を入れ、全館の手すりやドアノブなどの消毒にも努めました。

イ 効率的な運営への取組について

常に節水、節電や資源の有効活用に心がけ、資源の日常的な無駄を省く努力を職員一同継続しました。特に今年度は節電を徹底し、電球の間引きや大型扇風機を購入し、会場利用者にもご協力頂きました。

日常的に使用する消耗品についても、法人全体で一括して取引することで、金額を見直すことができました。また、事務処理に関しても法人本部と連携して効率的に取組みました。その他、インターネット上での価格の比較を徹底し、購入しました。

ウ 苦情受付体制について

法人では、公正・中立の立場から、第三者委員会を設置して、適切な苦情解決に向けて整備しました。

「苦情相談対応マニュアル」を見直し、苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して苦情受付の体制を整え、その情報を職員間で共有して改善に努めました。

スタッフが利用者の相談を適切に対応できるよう、研修に参加し、窓口(苦情相談窓口、ご意見箱、ホームページでの受付など)だけでなく、日頃から意見を言いやすい環境、関係づくりを目指しました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

「事故防止マニュアル」、「事故等緊急時の対応マニュアル」について、適宜見直しを行い、職員に周知し、共有化を図りました。

今年度は特に災害時特別避難場所としての役割を再度見直し、区役所とより連携を深めるために話し合いました。また、災害備蓄物資の消費期限等のチェックを行いながら整備し、適正な管理に努めました。

年2回の避難誘導訓練を行い、終了後には必ず消火器の使用方法を確認しました。緊急連絡網を適宜更新しました。

AEDの設置に伴い、備品の使用期限や日頃からチェックを行い、整備しました。また、消防署職員によるAEDの使用方法や心肺蘇生を再度学びました。

夜間はセキュリティシステムが稼動し、特に問題はありませんでした。

オ 事故防止への取組について

マニュアルを適宜見直し、職員に周知し、共有化を図りました。

業務中にヒヤリとしたことや、ハットしたことがあった場合には、今後も事故につながる可能性が高いため、その日のうちにスタッフミーティングで報告・注意喚起すると共に防止策を検討して、記録を残し、事故の未然防止に取り組みました。

職員が日常的に点検や目視を行い、事故の発生予防に心がけました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

年度の半ば頃に「個人情報保護取り扱い意識確認チェックリスト」で復習して常に緊張感をもって対応するように心がけました。

個人情報に関わる書類等は、すべて書庫に施錠して保管管理しました。

不要となった情報については、シュレッダーを使用して破棄することを徹底しました。

事業所等への個人の報告等は郵送を基本とし、FAXでの送信の場合は2名でのダブルチェックの徹底をしました。

携帯電話は使用時、暗証番号の入力を必要とし普段はロックがかかっています。

キ 情報公開への取組について

本会のホームページや広報紙において、事業内容や決算報告等を公表しています。神奈川県介護サービス情報公表システムや横浜市の施設情報案内に情報を提供しています。必要に応じて内容を適宜更新しました。

各事業に関しては、2ヶ月に一度広報誌を発行し、町内会へ回覧や掲示板に、また地域の集まりの際には広報誌を配布し事業の説明を行い、地域の方に広く周知することを心がけました。

ク 環境等への配慮及び取組について

横浜市の取組みに準じて、冷暖房の温度設定、軽装での執務、不要な照明の消灯、使用していない事務用機器の電源オフ、ブラインド等の使用などの取組みを推進しました。

3R夢に基づき、貸し館利用者にもゴミの持ち帰りの協力をお願いしました。

個人情報が含まれていないかを確認してから、使用済み紙の裏紙を有効に活用しました。

随時、職員会議等でゴミの分別等について確認する時間を設け、職員の分別に対する意識づけを行いました。

職員一同、節水や節電に積極的に心がけました。

施設の緑化に力を入れ、ボランティアの協力も得て、花壇の維持管理を行いました。

介護保険事業

介護予防支援事業

職員体制

3職種（看護師1名・主任ケアマネジャー1名・社会福祉士1名）と居宅介護支援事業所と介護予防支援事業所の兼務のケアマネジャー3名の計6名で介護予防支援業務に従事しました。

目標

利用者に達成目標と支援レベルを明らかにし、また、客観的な必要性と本人の要望のすり合わせにより、自立や介護予防を促すように支援しました。

実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）

ありません

その他（特徴的な取組、PR等）

公正中立な立場、細やかな対応を心がけました。区役所をはじめ、関係機関との連携体制も整えました。

利用者実績

単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
123	116	115	119	117	119
10月	11月	12月	1月	2月	3月
123	120	118	119	122	119

居宅介護支援事業

職員体制

- ・ 管理者... 1名(常勤兼務)
- ・ 介護支援専門員... 3名(常勤専従1名、常勤兼務1名、非常勤兼務1名)

目標

- ・ 在宅生活を継続するために、必要なサービスを適切に利用できるように、利用者や家族の依頼を受けて、居宅サービス計画を作成します。
- ・ 適切なサービスが提供されるよう、サービス担当者会議を開催し、担当者から専門的な意見を求め、調整します。
- ・ サービス提供開始後は、毎月1回以上訪問することで、状況を把握(モニタリング)し、心身や環境に変化に応じた適切なサービスが提供されるように、居宅サービス計画を見直しします。

実費負担(徴収する場合は項目ごとに記載)
ありません

その他(特徴的な取組、PR等)

- ・ 各種講習会・研修会に積極的に参加し、ケアマネジャーの資質向上に努めました。
- ・ ケアプラン作成後も利用者様・家族様と連絡を取り、相談しながら必要なサービスを提供できるように支援しました。
- ・ 地域ケアプラザの居宅介護支援事業所として、地域包括支援センターと連携し、積極的に支援困難ケースの受入れを行い、必要に応じてすぐサービスを導入し、専門性の高い対応を心がけました。

利用者実績

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
50	48	54	56	60	62
10月	11月	12月	1月	2月	3月
65	67	69	69	68	65

通所介護事業

提供するサービス内容

通所介護サービス計画の作成 介護サービス（食事、排泄、介助等）
 生活指導（相談援助） 健康状態の確認
 個別機能訓練（日常生活動作） レクリエーション 送迎 給食 入浴

実費負担（徴収した項目ごとに記載）

1割負担分

（要介護1） 708 円
 （要介護2） 825 円 （要介護3） 942 円
 （要介護4） 1,059 円 （要介護5） 1,176 円
 食費負担 700 円（おやつ代含む）
 入浴負担 53 円
 サービス提供体制強化加算 7 円
 個別機能訓練加算 29 円

事業実施日数 週7日（年末年始[12/29～1/3]を除き、年中無休）

提供時間 10:00 ～ 16:10

職員体制

管理者 1名（常勤兼務）
 生活相談員 4名（常勤兼務4名）
 看護職員 3名（常勤兼務1名、非常勤兼務2名）
 介護職員 15名（常勤兼務4名、非常勤11名）
 機能訓練指導員 3名（常勤兼務1名、非常勤兼務2名）
 運転業務職員 4名（非常勤4名）

目標に対する取組状況

日頃、外出する機会の少ないご利用者様に健康チェック、入浴、食事、体操、レクリエーションなどを行い、一日楽しく安心、安楽に過ごしていただくと共に、その有する能力に応じ自立した日常生活ができるようサービスを提供します。

その他（特徴的な取組、PR等）

音楽療法の取組み：外部より講師を招き、音楽の楽しみを身近に体験していただきます。

個別機能訓練を行い、個々の状況に応じて計画し、訓練を行いました。

口腔機能体操の実践：到着後のうがいや、毎食前に口腔機能体操を取入れました。

食後の歯ブラシ・義歯洗いの奨励：口腔清潔の啓発を行いました。

食事の充実：「給食委員会」にて毎月1回、メニューの見直しや要望、季節にあった行事食の内容検討など、更なる充実を図りました。

嗜好調査：ご利用者の嗜好品や食事に対する適宜意見を伺い、嗜好に沿って取り入れるメニューや代替品の検討につなげました。

お客さま満足度調査の実施：調査を行い、結果内容を職員間で検討し、より喜ばれるサービスの改善に努めました。

レクリエーションの充実：園芸・手工芸などご自身で選択していただきました。

また好評なアニマルセラピーボランティアに継続的に活動していただきました。

毎月季節にあわせた薬湯週間を設け、ゆっくりと入浴を楽しんでいただきました。

利用者実績（延べ人数）

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
573	560	572	586	611	606
10月	11月	12月	1月	2月	3月
631	611	579	580	527	563

介護予防通所介護事業

提供するサービス内容

介護予防通所介護サービス計画の作成 健康状態の確認
 生活指導（相談援助） サービス計画に基づいた機能訓練
 送迎・入浴 レクリエーション 給食

実費負担（徴収した項目ごとに記載）

1割負担分

（要支援1） 2,327円（月額）

（要支援2） 4,549円（月額）

運動器機能向上加算 236円（月額）

サービス提供体制強化加算

（要支援1） 25円（月額）

（要支援2） 51円（月額）

食費負担 700円（おやつ代含む一食につき）

事業実施日数 週7日（年末年始[12/29～1/3]を除き、年中無休）

提供時間 10:00～16:10

職員体制

通所介護事業の全職員が介護予防通所介護事業に兼務しています。

目標に対する取組状況

楽しく生き生きと過ごしていただくとともに、利用者個人の有する能力に応じ、自立支援をサポートします。

その他（特徴的な取組、PR等）

音楽療法の取組み：外部より講師を招き、音楽の楽しみを身近に体験していただきました。

運動機能の充実：運動器機能向上加算を取り入れ、より個別に対応して機能向上を目指しました。

口腔機能体操の実践：到着後のうがいや、毎食前に口腔機能体操を取入れました。

食後の歯ブラシ・義歯洗いの奨励：口腔清潔の啓発を行いました。

嗜好調査：ご利用者の嗜好品や食事に対しての意見を適宜伺い、嗜好に沿って取り入れるメニューや代替品の検討につなげました。

食事の充実：「給食委員会」で毎月1回、メニューの見直しや要望、季節にあった行事食の内容検討など、更なる充実を図りました。

お客さま満足度調査の実施：調査を行い、結果内容を職員間で検討し、より喜ばれるサービスの改善に努めました。

レクリエーションの充実：園芸・手工芸などご自身で選択していただきました。また好評だったアニマルセラピーボランティアに継続的に活動していただきました。

毎月季節にあわせた薬湯週間を設け、ゆっくりと入浴を楽しんでいただきました。

利用者実績（契約者数）

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
22	18	21	19	16	17
10月	11月	12月	1月	2月	3月
15	17	18	18	18	17

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

地域の開かれた窓口をめざし、地域包括支援センターの職員が土日祝日を含めて、1名以上は出勤し、地域からの様々な相談に迅速に対応しました。

独居（日中独居を含む）の方や介護認定を受けていながら、介護サービスを利用していない方、地域との関係が希薄な高齢者、民生委員や区役所職員から依頼を受けた方など、様々なケースの高齢者に助言・訪問を適宜行いました。

介護保険に関する相談をはじめ、地域での様々な福祉に関する相談に応じ、必要な機関への調整を行いました。

子育て関係の相談は子育て支援の場で、周知を行い、相談を受けています。また、必要に応じて区の担当部署やスマイルポートと対応しました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

月1回の会議で、情報の共有・連携等を行いました。また、必要な情報を適宜、伝達して情報共有と、問題解決に繋げました。地域情報についても、施設内での共有に努め、連携し支援しました。

共催事業を行い、参加者の状況を共有しながら、必要な支援をしました。

地域にも一緒に出向いて、ケアプラザの周知や顔の見える関係作りに努めました。

個別の課題にも連携、共有して取り組み支援しました。

3 職員体制・育成

事業所ごとの資格要件および職員配置基準を満たした配置をしました。

各事業の専門性を発揮して、地域ケアプラザの職員としての質の向上に、研修等に積極的に参加しました。

4 地域福祉のネットワーク構築

今年度は個別支援・困難事例などをテーマに担当地区民生・児童委員協議会と学習交流会を行い、実活動に向けて相互に情報交換、共有に取り組み、実施しました。

地区社協活動などの地域の福祉保健活動に企画の段階から参加し、情報交換、共有し活動の支援を継続しました。

地域の福祉保健の問題を把握し、それに対する具体的な取組が支えあいネットワークにより行われています。その活動を支援するため関係機関(小学校・警察署・警察OB会・交通安全協会など)と地域の情報交換、共有を行いました。

ボランティア交流会を開催し、情報交換や活動紹介を行える場・機会を設けました。

貸室利用団体と地域の交流会を開催し、活動を紹介する場や活動の場を設けました。

5 区行政との協働

にこまちプランの支援メンバーとして、ケアプラザができることを支援しました。

子育て支援拠点と共催し、お母さんたちの居場所づくりを行いました。

日頃からお互いの情報を共有して連携に努めました。

区役所との定例カンファレンスを月に1回行い、地域の情報を共有し、それぞれの役割を担い地域を支援しました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

地域の最新のインフォーマルサービスの情報収集を行い、閲覧できる仕組みをつくり情報を提供しました。
地域活動団体から意見を抽出し、作成したボランティア団体リストを見直し、最新の情報を盛り込んだリストを作成しました。
奇数月年6回発行の広報紙「みやざき」、毎月発行のまもり隊活動（地域防犯、登下校パトロール）を支援する「まもり隊ふれあい情報通信」を発行し町内回覧や掲示、当事者へ直接配布を行いました。
地域の各種団体の定例会や会長宅に出向き、ケアプラザの自主事業参加者、貸室利用団体へも福祉保健活動の情報収集や情報提供を行いました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

地域福祉保健活動団体の利用を促進するため、PR 広報(広報紙、チラシ、館内や地域掲示板への掲示など)活動を行いました。
空き室情報を利用者にわかりやすいように、随時館内掲示でお知らせしました。
福祉保健活動のニーズを定期的に情報紙にて提供しました。

3 自主企画事業

今年度も自主化した団体（3団体）の後方支援を行い、完全自主化(後方支援終了、活動については相談支援を行う)としました。
男性の活動の場を提供し、講座から定期的な活動へ繋げ、地域福祉の担い手を育成しました。
地域住民、施設利用者などのアンケートや声から、ニーズに合った事業を展開しました。
地域ケアプラザを知らない、利用したことのない地域住民をターゲットにした事業に多くの地域住民の方が参加してくれました。
元気な高齢者(70歳以上)や支援の必要な方(70歳以下)を対象にミニデイサービス事業を展開し、介護予防に努めました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

ボランティア講座 OB、自主化した団体へ活動支援を引き続き行いました。
地域ケアプラザのボランティアコーディネートの啓発、利用促進を行い実活動へ繋げました。
地域のニーズを踏まえカテゴリー別の育成研修講座を開催しました。
ボランティア活動のための情報紙を定期的に発行し、館内に掲示しました。
新人サブコーディネーターをボランティアコーディネーターとして育成しました。
区社協、区内ケアプラザ、関係機関(ガッツビーとし・スマイルポート)と連携しボランティアの育成に努めました。

地域包括支援センター

1 総合相談

総合相談支援（総合相談）

地域の開かれた窓口をめざし、地域包括支援センターの職員が土日祝日を含めて、1名以上は出勤し、地域からの様々な相談に迅速に対応しました。
独居（日中独居を含む）の方や介護認定を受けていながら、介護サービスを利用していない方、地域との関係が希薄な高齢者、民生委員や区役所職員から依頼を受けた方など、様々なケースの高齢者に助言・訪問を適宜行いました。
介護保険に関する相談をはじめ、地域での様々な福祉に関する相談に応じ、必要な機関への調整を行いました。

総合相談（実態把握）

地域から個別相談を受けた後、サービス必要時に迅速に対応できるよう、継続して定期的に電話連絡や訪問を行うことで実態把握をしました。
民生委員児童委員の集会や地域の食事会など、地域の情報が集約される場所に積極的に参加し、ニーズを予測することで予防的対応に努めました。

2 権利擁護

権利擁護（権利擁護）

個別相談の中では、相談者からの相談内容が権利擁護についてではないとしても、成年後見制度について知らない、または知っていても必要とっていない方も多いため、対象者の判断能力について確認した上で、必要に応じて、成年後見制度の情報提供をしました。
実際に区長申立てとなったケースは今年度はありませんでしたが、常にその可能性も視野に入れ、親族確認などの対応をしました。また、区役所のケースワーカーと情報共有をしておくことで、迅速な対応の準備としました。
成年後見制度についての事業としては、西区4地域包括支援センター・区役所・区社会福祉協議会共催で、9月に法テラスについての講座を行い、寸劇を交えながら、法テラスについて（成年後見制度について）を分かりやすく解説しました。

権利擁護（高齢者虐待）

虐待の疑いがある対象者には、区役所の職員と同行訪問し、状況の確認を行いました。また、サービス事業所からの相談で虐待の疑いがあった場合にも、ケアマネジャーに連絡して、情報共有し、また、虐待発見チェックリストを手渡し全体像の把握を依頼しました。
虐待予防の重要性を鑑み、虐待予防講座を行いました。

権利擁護（認知症）

今年度も引き続き「介護者のつどい」の中で、「認知症サポーター講座」を開催し、地域住民に認知症の理解や、地域での支え合いの重要性を伝えました。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

自主事業・総合相談・出前講座・おまつりなどを通じて、基本チェックリストを目標 80 名に行い、二次予防対象者の把握に努めました。

介護予防ケアマネジメント力

要支援者が要介護状態にならないよう、区役所やその他の関係機関と連携して、日常生活における課題を早期に発見して、生活機能評価を行い、適切な支援を行いました。

要介護状態になっても本人の意志や家族の意向を尊重した上で、残存機能を活かしながら在宅での生活が継続できるよう、適切な保健医療機関や福祉サービスなどの導入を支援しました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

地域で行われている高齢者食事会やお茶会、お祭りなどに地域に出向く機会を通じて、連携の推進や地域ニーズの把握を行いました。

今年度も担当地区民生・児童委員協議会と学習交流会を行い、実活動に向けて相互に情報交換、共有に取組み、気軽に相談できるような関係作りに努めました。

医療、介護等の関係機関との関係づくりに努めました。

医療・介護の連携推進支援

医療機関との連携により、退院後の地域での生活について支援しました。

一人暮らしの方や、介護認定を受けていながら介護サービスを利用していない方について、区役所や民生委員等と連携して支援しました。

近隣の医療ソーシャルワーカーと連携し、退院前のサポートから退院後の地域生活まで支援しました。

区役所との定例カンファレンスを月に 1 回行い、地域の情報を共有し、それぞれの役割を担い支援を行いました。

ケアマネジャー支援

西区内に 4 包括支援センターの主任ケアマネジャーが共催でケアマネジャー対象に学習交流会を開催し、ケアマネジャーが抱え込まずに、また孤立しないように努めました。

日頃からケアマネジャーの相談にのれるような関係作りに努め、時には同行訪問するなど支援しました。

ケアマネジャーが開催するサービス担当者会議に可能な限り出席し、包括的な立場で助言、支援をしていきました。

介護予防事業

介護予防事業

高齢者が自ら「介護を必要とする状態になることを未然に防止し、できるだけ身体の機能を維持・改善すること」を目指しました。年3回（各4回コース）の「体力向上プログラム」を実施しました。内容は、基本チェックリスト・介護予防体操・口腔機能の向上・栄養・フットケアで構成しました。そのうち1コースは、地域へ出向き、町内会館を借りてプログラムを開催しました。

介護予防事業（自主事業）

地域に住む方々が自ら「免疫力を高めて健康の維持・増進すること」を目指しました。年4回の免疫力アップ体操講座を実施しました。

内容は基本チェックリスト・栄養（2回）・体操・笑いの講座で構成しました。介護保険を使うほどではないが、普段あまり外出をしない方を対象に、月2回ケアプラザで手芸を行い、定期的な外出の機会や他者との交流、介護予防に努めました。

平成23年度 自主事業報告書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

・定期事業

NO.1 交流

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者支援事業 ミニデイ 「いきいきサロン宮崎」	目的：家庭に閉じこもりがちな高齢者に外出の機会をもち、仲間同志の交流を図る。また、高齢者同士の見守り、CPとのかかわりも方も随時伝えていく場。介護予防啓発 内容：食事会・レクレーション・CPからのお知らせなど	毎月第2水曜日 11:00～14:00 12回開催
子育て支援事業 わくわく親子プラザ	目的：未就園の乳幼児の親子を対象。子育てしていく中でのお母さん同士のコミュニケーションや子育ての支援。 内容：毎回テーマを設け活動。初めての母子分離、リトミック、発達障害講座など	毎月第1月曜日 10:30～12:00 12回開催
子育て支援事業 みやぎキッズ	目的：未就学の乳幼児の親子を対象にしたフリースペース。公園などの遊び場の減少・遊び場の安全などの地域の課題を踏まえての開催。地域ニーズからの事業。 内容：フリースペース	毎月 第1月曜日 12:30～17:00 12回開催
子育て支援事業 みやぎキッズwith スマイルポート	目的：未就学の乳幼児の親子を対象にした親子ひろば。区子育て拠点と一緒に親子を支援する。 内容：出入り自由の場。CP職員やスマイルポートの職員が子育て相談などを行う。読み聞かせ、手遊びなどで交流を図る。	原則毎月 第3月曜日 10:00～12:00 10回開催
子育て支援事業 天使のほっぺ	目的：プレママ、0歳児親子を対象。お母さん同士やプレママのコミュニケーションの場。子育ての相談・支援。 内容：0歳児親子サロン。テーマを設け活動。離乳食、赤ちゃん体操他	毎月 第3水曜日 10:30～12:00 12回開催
心と体を癒すフラダンス講座 ゆっくりコース (包括と共催)	目的：西区地域保健計画の基本目標2「活気にあふれ、健康なまち」を目指し開催します。健康な体をつくる 健康な心をつくる 健康への意識づけ 地域住民の交流の場 様々な世代の交流の場 内容：フラダンス	原則毎月第2・4 月曜日 10:30～12:00 22回開催
地域支援事業 ワンコイン音楽サロン	目的：「歌う」「新しい歌を覚える」ことで体と心の健康を作りを支援します。地域住民・異世代交流の場 内容：毎月の歌と継続して歌い覚える歌の指導	毎月第3土曜日 13:30～15:30 12回開催
パパあのおね!!	目的：お父さん同士の交流。地域の担い手として啓発。 内容：お父さんならではのダイナミックな体を動かす遊びを中心に、子どもとの関係性や遊びの意味を学びながらコミュニケーションを図る。	毎月 土曜日1回 10:30～12:00 12回開催

平成23年度 自主事業報告書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

・定期事業

NO.1 交流

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おはなし会 にこにこひろば おはなし会ボランティアグループ 「ぼっ・ぼっ・ぼっ」と共催事業	目的：ぼっぼっぼっの活動目的「絵本の読み聞かせを主軸に子育て支援として乳幼児(0歳～3歳児)向けのおはなし会を開催し、乳幼児の時期の絵本の大切さや役割を伝え、親子のコミュニケーションを図ることを目的とする」を支援する 内容：0歳～3歳児向けおはなし会	毎月第2火曜日 10:30～12:00 10回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域支援事業 まもり隊事務局	目的：平成16年度地域支えあい連絡会にて地域の声があり、平成17年度4月より活動を開始した、子どもの見守り・町内の防犯を目的とした下校、防犯パトロール隊。「地域の子どもは地域で守る。」が合言葉。 活動内容：行政が主動で活動している組織が多い中、連合町内会・地域住民が主動で活動している。地域支えあい連絡会は発展的解散はしたが、活動は現在も続いている。CPの役割は事務局。各町内会の活動把握や行政(警察・消防署・区)との連絡調整、また小学校行事に伴う下校時間、休校など小学校と連携し情報紙の発行や子どもや教職員との親睦会など3小学校との調整など。	見守り・防犯活動は町内会単位でほぼ毎日活動 連絡調整随時 情報紙、3小学校分毎月発行。

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
楽しみながら 韓国語講座	目的：異文化交流・異世代交流・地域交流 CPを知らない世代への啓発、情報の提供 内容：楽しみながら異文化を学び、あいさつなど日常の簡単な会話を学び習得する 活動している中で、CPの情報を提供していく	毎月第2・4 木曜日 10:00～11:30 22回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
花を楽しむ講座	目的：異世代の交流の場、地域交流、引きこもり防止 内容：プリザード・アレンジなどお花を通した活動 精神的な安定を図る	毎月 火曜日1回 13:30～15:30 12回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
脳いきいき 宮崎マージャンクラブ	目的：マージャンをツールとした会護予防・引きこもり防止 異世代交流・地域交流をメンバーで図る 内容：宮崎地域CP版のルールを作り、参加者でマージャンを楽しむ。メンバー同士の交流。	毎月第2・4 土曜日 13:30～17:00 21回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お菓子づくりボランティア「パティシェ・ガールズ」	目的：お菓子をツールとした福祉保健活動を行う。 内容：地域住民の集まる活動(講座や地域のイベント)にお菓子を作り提供する。	毎月第1土曜日他 10:00～12:30 13回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男性のための料理教室	目的：男性の初心者向けの料理教室 内容：包丁の持ち方から、食材の切り方、調味料の計量の仕方、レシピの見方など料理の基本から簡単な食事を作る。	毎月第3水曜日他 10:00～13:00 12回開催

平成23年度 自主事業報告書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

・単発事業（共催事業含む）

NO. 2 交流

	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
4月	男性のための料理教室	目的：①男性の集まる場を提供し、仲間作りのきっかけとする。 ②1人暮らしまたは高齢者世帯の方で、料理の基礎を身につける。 内容：基本的な栄養や調理について学ぶ。	27日・5月18日・25日・6月1日 (水) 10:00～13:00 全4回
5月	子どもお菓子づくり教室	目的：①小学生に地域ケアプラザを知っていただく。 ②異学年・異小学校・異世代の交流 内容：マドレーヌを作り、デイサービスの高齢者を訪問する。	5日(金) 10:00～12:00 1回
	お母さんのための絵本講座 ○ぽっ・ぽっ・ぽっとの共催	目的：①乳幼児期の子どものための発達に絵本の大切さを知っていただく。 ②親子・他親子との交流を図る。 内容：講義・選書・絵本の読み方レクチャー・おはなし会	24日(火) 10:30～12:00 1回
6月	「和」を楽しむ講座 浴衣編	目的：①地域ケアプラザの啓発 ②地域住民の交流 ③新しい担い手の発掘 内容：浴衣の着方、帯の結び方、着物のたたみ方などを学ぶ。	19日・7月3日・17日(日) 10:00～12:00 全3回
	わたしにできること講座 障害児・者支援編 (自立支援協議会余暇支援分科会共催)	目的：①障害児・者を支援ボランティアの育成 内容：ボランティア活動・障害を知る、先輩ボランティアの活動を学ぶ講座、実習	6月26日・7月10日(日)と実習の全3回
7月	中学生のボランティア講座	目的：中学生のボランティアスタートのきっかけづくり、また地域の新しい担い手としての発掘の場。開催内容：1～2回目は高齢者・障がい者・子育て支援/CPの役割を学ぶ。3回目は各関係機関に協力頂きボランティア体験。 内容：①ボランティアとは②地域CPとは③高齢者支援④障がい児者支援⑤子育て支援⑥地域支援活動について学び、ボランティア活動を行います。	25日(月)～27日(水) 10:00～12:00 全4回 26日(木)～8/13日(土)のうち1日 8/17(水)
	地域コミュニケーション講座 「歌舞伎鑑賞と昼食のお誘い」	目的：「歌舞伎」をツールに地域住民を集め地域ケアプラザを知って頂き交流を深める。 内容：①地域ケアプラザを知る ②地域住民同士の交流③歌舞伎鑑賞	7/27(水) 12:00～17:00 1回
8月	ケーキフラダンス講座	目的：小学生にCPの啓発を行う。フラダンスを通してデイサービス高齢者との交流をもつ。異学年、異小学校児童の交流。 内容：①フラダンスを学ぶ②参加者同士の交流 ③デイサービスへの訪問・交流	4日(木) 11日(木) 10:30～12:00 18日(木) 13:00～15:00 全3回
	障がい児余暇支援 (自立支援協議会余暇支援分科会共催)	目的：西区内の同世代の障害ある子どもたちの交流の場。ボランティアとの交流。障がい者の啓発。 内容：小学生対象の余暇支援、プールを中心とした活動。パンづくり他	4(木) 13:00～16:00 1回

平成23年度 自主事業報告書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

・単発事業（共催事業含む）

NO. 2 交流

	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
9月	子育て支援イベント みやざき縁日	目的：子育てしていく中でのお母さん同士のコミュニケーションや子育ての支援。職員や地域子育て支援者とのコミュニケーションの場。 内容：縁日	17日（土） 11:00～13:00 1回
	お菓子づくりボランティア講座	目的：①地域ケアプラザの啓発 ②お菓子作りを目的としたボランティア活動団体を作る ③地域、異世代交流 内容：地域ケアプラザの設置目的を知り、活動に役立つお菓子作りを学ぶ	10日・17日・24日・10月1日（土） 10:00～12:00 全5回
	西区4CP合同男性のための料理教室交流会	目的：西区内の男性の料理教室の充実と男性の居場所づくり支援。企画・運営・事業のコーディネート 内容：担当ケアプラザ料理教室の料理による会食会を行なう。活動の情報交換。西区福祉保健センター職員も参加される	16日（金） 9:00～13:00
10月	第12回宮崎まつり	目的：①地域住民とCPの交流の場。②地区社協と共催することで地域住民との繋がりを深めていく。③CP啓発。 内容：福祉保健活動をなされてる地域住民や障害者施設、団体による模擬店。貸室団体による催し物など	15日（土） 11:00～14:00 1回
	大人の社会科見学	目的：バスハイクを通して地域住民、職員との交流 内容：浅草花やしき～浅草寺～巣鴨	31日（月） 9:00～17:00 1回
12月	子どもクリスマス講座	目的：①小学生に地域ケアプラザを知っていただく。 ②異学年・異小学校・異世代の交流 内容：ケーキを作り、デイサービスの高齢者を訪問する。	11日・18日（日） 10:00～12:00
1月	異世代交流サロン	目的：異世代交流による住みよい地域づくり 幼稚園児と高齢者が交流することで、地域に戻ってからの関係作りも期待する。高齢者自身も地域の幼稚園児を意識した生活を送ることで、声掛けや見守りの活動を進んでしてくれます。また、幼稚園側も地域に興味を持ち地域のことを知ろうと様々な活動に協力してくれる。 内容：①高齢者と幼稚園児の交流 ②レークレーション ③会食会	31日（火） 11:30～13:30 1回
	わたしにできること講座 子育て支援編	目的：子育て支援ボランティアの育成 内容：ボランティア活動・子育ての現状を知る・先輩ボランティアの活動を学ぶ講座、実習	27日（金）と実習の全2回
2月	地域と貸室利用団体交流会	目的：貸室利用団体の地域への福祉・保健活動への支援。と共に地域や当CPでのボランティア活動への啓発や貸館利用者同士の情報交換の場。地域との交流の場。 内容：①貸室利用団体への福祉保健活動啓発・意識づけ②貸室利用団体のネットワークづくり ③地域住民へのボランティアコーディネートの周知 ④地域住民と貸室団体の交流	26日（日） 13:00～16:00
3月	ボランティア交流会	目的：当ケアプラザにてボランティア活動をしている方・団体と地域の協力団体との交流の場。CPは日頃の活動中のご意見などを集約する場。様々な方・団体のボランティア活動を知り、情報交換し連携することで、地域の中での福祉保健活動をしやすい環境を作る 内容：①情報提供 ②情報交換 ③職員とボランティアの交流	6日（火） 12:15～14:15

平成23年度 自主事業報告書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	目的：介護者の情報交換や憩い・リフレッシュの場 内容：介護者や介護の経験のある方の交流・リフレッシュ 年2回「あけぼの会（西区・介護者のつどい）」との交流会を含みます。	4月・6月・8月 10月・12月・2月 年間、6回開催
介護予防サロン 手芸クラブ	目的：高齢者の介護予防・憩いの場 内容：パッチワークなどの手芸	毎月第1・3水曜 月2回 年間、22回開催
出張健康講座	目的：地域包括支援センター周知や保健・福祉に関する情報を提供する場 内容：地域で行われる「ふれあい会」や「体操教室」等の場に出向き、介護予防や健康増進のミニ講座を開催	適宜： 月1～2回程度開催
フラダンス講座 ゆっくりコース (地域交流と共催)	目的：西区地域保健計画の基本目標2「活気にあふれ、健康なまち」を目指し開催します 内容：フラダンス	原則：毎月1～2 月曜 10:30～12:00 年間、23回開催
健康講座	目的：免疫力を高めて健康の維持・増進 内容：運動・10月、2月（玄米ダンベル体操） 栄養・7月（講座） 笑い・1月（笑いヨガ）の三本柱	7月21日・10月20日 1月19日・2月16日 4回開催
権利擁護事業 (4包括社福)	目的：権利擁護について普及啓発 内容：虐待についての寸劇・講義	2月17日
介護予防講座	目的：介護予防 内容：基本チェックリスト、介護予防体操、口腔、栄養、フットケア	5月、8月、11月 全4回×3クール
ケアマネジャー 学習交流会	目的：地域で活動するケアマネジャーのスキルアップや支援、交流 内容：地域で活動するケアマネジャーのスキルアップや支援、交流	年10回
宮崎まつり	目的：福祉保健活動 内容：エコバック（新聞紙）	10月15日

平成23年度 自主事業収支報告書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

交流

事業名	①主な対象者	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
高齢者 しあわせサロン宮崎 毎月第2水曜日	70歳以上の一人暮らし・日中独居 75歳以上の高齢者世帯 496人 500円他実費	429,830	48,330	381,500	5,555	396,816	27,459
親子わくわくプラザ 毎月第1月曜日	1歳～未就園親子 398人 原則なし	65,047	50,047	15,000	15,554	42,773	6,720
子育て みやざキッズ Withスマイルポート	未就学親子 221人 なし	5,600	0	0	0	0	5,600
子育て みやざキッズ フリースペース	未就学親子 69人 なし	0	0	0	0	0	0
子育て 天使のほっぺ 毎月第1金曜日	0歳児親子・プレママ 131人 原則なし	30,073	30,073	0	0	23,353	6,720
子育て パパあのおね！ 毎月土曜日	1歳～未就園父子 138人 原則なし	30,000	26,914	0	0	20,754	6,160
地域支援事業 ワンコイン音楽サロン 毎月原則第3土曜日	地域住民誰でも 409人 500円	190,873	3,373	187,500	141,101	49,772	0
地域 フラダンス講座 ゆっくり 毎月原則第2・4月曜日	地域住民誰でも 223人 8500円	104,480	53,480	51,000	97,768	0	6,720
地域 楽しみながら韓国語講座 毎月原則第2・4木曜日	地域住民すべて 260人 全22回 12000円	147,449	-14,551	162,000	122,210	0	25,239
地域 花を楽しむ講座 毎月原則第3火曜日	地域住民すべて 143人 12回 6000円	60,000	3,000	57,000	60,000	0	0
地域 脳いきいき宮崎マージャンクラブ 5月より毎月第2・4土曜	地域住民誰でも 337人 1回200円	118,325	63,325	55,000	0	107,325	11,000
地域ボランティア育成 障がい支援編・子育て支援編 単発全6回	地域住民誰でも 25人 なし	0	0	0	0	0	0

平成23年度 自主事業収支報告書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

交流

事業名	①主な対象者	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
地域 男性のための料理教室 単発 全4回 4月～	男性ならだれでも 32名 2500円	24,763	2,263	22,500	0	22,523	2,240
地域 男性のための料理教室継続 7月より毎月原則第4水曜日	男性ならだれでも 52名 1回 500円	27,235	1,235	26,000	0	27,235	0
小学生と高齢者との交流 子どもお菓子づくり教室 単発 1回	小学生以上 16人 300円	8,117	3,317	4,800	0	7,557	560
地域 お母さんのための絵本講座 単発 1回	未就園児親子 11人 なし	3,333	3,333	0	3,333	0	0
地域 「和」を楽しむ(浴衣編)講座 単発 全3回 6/26 7/3・17	未就学親子 14人 1500円	11,110	6,610	4,500	11,110	0	0
地域 中学生のためのボランティア講座 全5回 7/25～27 7/28～8/14 Vor活動8/17	区内在住中学生 35人 なし	2,624	2,624	0	0	2,624	0
地域 歌舞伎鑑賞と昼食のお誘い 単発 1回 7/28	地域住民 27人 3800円	131,298	2,798	128,500	0	131,298	0
子ども ケーキフラダンス講座 全3回 8/4・11・18	小学生以上 10名 全3回 2000円	30,602	14,602	16,000	26,664	2,258	1,680
障がい児・者余暇支援 夏の思い出づくり 単発 1回 8/4	小学生 23名 300円	12,803	8,303	4,500	6,666	5,577	560
子ども・地域 縁日をみんなで楽しもう 単発 1回	地域住民 170人 模擬店により異なる	26,738	15,973	10,765	0	26,738	0
地域 4CP合同男性の料理教室交流会 単発 1回	区内CPの男性料 32名 500円	15,420	-80	15,500	0	15,420	0
地域・ボランティア育成 お菓子づくりボランティア講座 単発 全3回	地域住民 19人 1000円	11,223	3,723	7,500	5,555	5,668	0

平成23年度 自主事業収支報告書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

交流

事業名	①主な対象者	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
地域 宮崎まつり 単発1回 10/15	地域住民誰でも 450人 模擬店により異なる	155,728	99,268	56,460	31,111	118,957	5,660
地域 大人の社会科見学 単発1回	地域住民誰でも 35人 5000円	263,595	68,825	194,770	0	263,595	0
子ども 小学生のクリスマス講座 単発 全2回	小学生・中学生 27人 500円・300円	16,841	5,841	11,000	0	15,721	1,120
地域 第1回脳いきいき宮崎マージャン大会 単発1回	サブコーディネーター他 15人 500円	7,920	420	7,500	0	7,920	0
障がい児・者余暇支援 お餅つきだよ全員集合 単発 1回	障がい児・者 52人 —	5,506	5,506	0	0	5,506	0
地域 地域と貸室利用団体交流会 単発1回 未定	貸館利用者 79人 なし	9,592	9,592	0	0	9,592	0
地域 ボランティア交流会 単発1回 未定	当CPボランティア 27人 なし	15,000	15,000	0	0	15,000	0
地域 高齢者と子どものふれあい交流会 単発1回	地域住民 61人 なし	15,968	15,968	0	0	15,408	560
		1,977,093	549,112	1,419,295	526,627	1,339,390	107,998

事業ごとに別紙に記載してください。

平成23年度 自主事業収支報告書

事業名	主な対象者	自主事業予算額					
	述べ参加人数	総経費	収入		支出		
	一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
介護者のつどい	介護者ご本人、 介護に関心のある方	11,071	11,071	0	5,555	3,836	1,680
	57人						
	原則なし・内容により実費徴収						
介護予防サロン手芸クラブ	65歳以上一般高齢者	146,385	95,885	50,500	122,210	10,735	14,330
	186人						
	500円						
出張健康教室	地域住民すべて	0	0	0	0	0	0
	578人						
	なし						
フラダンス講座 ゆっくりコース	地域住民すべて	103,368	52,368	51,000	97,768	0	5,600
	223人						
	8500円						
健康講座 全4回	地域住民すべて	46,186	46,186	0	39,999	3,527	2,660
	79人						
	なし						
権利擁護事業 (4包括社福土共催)	地域住民すべて	0	0	0	0	0	0
	36人						
	なし						
介護予防講座 全4回×3クール	65歳以上一般高齢者	202,995	202,995	0	79,997	54,388	68,610
	187人						
	なし						
ケアマネジャー学習交流会	西区ケアマネジャー	11,939	11,939	0	11,111	828	0
	165人						
	なし						
宮崎まつり	地域住民すべて	3,770	3,770	0	0	3,770	0
	50人						
	なし						
		525,714	424,214	101,500	356,640	77,084	92,880